

単元でつけたい力（ステップシートの項目）

（教科等でつけたい力）

- ・他者と協働して課題を解決し、分析しまとめたり表現したりする。
- （学校図書館等の活用でつけたい力）
- ・図書資料等のさまざまな情報をもとに、自分の考えをもち、まとめる。
- ・目的に応じて、防災センターや聞き取り内容から情報を活用する。

本単元で育む主な情報活用能力

A-STEP3, C-STEP3  
G-STEP3, I-STEP3

該当番号の詳細内容は  
「大阪府情報活用能力  
ステップシート」から確認できます。



単元における学習の展開（全30時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第1次 (5時間)	○学習の見通しをもつ ○阪神淡路大震災と能登半島地震について調べる。（☆） ・「被害」「避難所の生活」「復旧復興」の3観点に分けて、2つの地震の様子を調べる。
第2次 (17時間)	○南海トラフ地震に備えて自分たちにできることを調べる。（☆） ・グループに分かれて調べる。 ・北淡震災記念公園（野島断層）や人と防災未来センターへ行き、地震や防災についての知識を深める。 ・保険会社（東京海上日動）による防災の出前授業や藤井寺市の危機管理課の方へ質問をする。 ・調べたことをグループごとに発表し、もらったアドバイスを整理する。（本時）
第3次 (8時間)	○調べて分かったことをまとめて、他の学年や地域の方に発信する。 ・地域の方や保護者、下級生に向けて「校区の防災」を伝える。

本時のねらい

グループで調べた内容を交流し、発表に向けてさらに必要な情報や新たな視点に気づき、考えを深める。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (5分)	1. 前時の内容を確認する。	・前回の発表での良い質問や感想を確認する。
展開 (35分)	2. グループで調べた内容を交流する。 ・他のグループの内容を聞いて、アドバイスを伝えたり、一言カードに書いたりする。  3. グループ会議をする。 ・もらったアドバイスをグループで共有し、意見を整理する。 ・発表に向けて、追加する情報やさらに深めるべき情報を調べる。	・交流した内容に対して、質問やアドバイスをする ように確認する。  ・もらったアドバイスをもとに話し合いを進めるよう に確認する。  ・深めたい内容を調べられるように、防災に関する 本を用意する。
まとめ (5分)	4. グループで話し合ったことを全体で共有する。 ・アドバイスや質問を受けて、これからより良い情報発信にむけて活かせる アドバイスを共有する。それらの共通点をみつけ、今後多くのグループで考え ていくことが分かるようにする。	・他のグループにもらったアドバイスをいかして、発 表内容を改善しているかを考えながら聞くよう に声かけする。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・保険会社の方からの出前授業をうけて、地震の基本的な知識を学ぶことができた。その後調べていく中で、疑問に思ったことや詳しく知りたいことを危機管理課の方に質問することでより詳しく知ることができた。
- ・修学旅行では、防災センターや野島断層へ行った。自分の調べていることに関連する情報を実際の写真や資料を見て阪神淡路大震災の様子について学んだ。また、体験コーナーや語り部さんの話を聞くことで、大震災を経験していない児童も地震について、学ぶことができた。
- ・保護者や地域の方へ防災減災を伝えるために、グループごとに悩んでいることや困っていることを伝え、様々なアドバイスをもらった。もらったアドバイスを付箋に書き、グループで話し合うときには付箋を動かし整理した。これまでにこのような形で意見を整理する経験が少なかったため、グループによってまとめ方の違いがあったが、自分たちで考え、分けたり、共通点を見つけたりしてまとめる様子が見られた。



他のグループからもらったアドバイスを整理している。